



おお い ちょう 大 銀 杏

喜多方市立慶徳小学校 学校だより
令和4年2月18日(金) 第49号
発行責任者 校長 石田 秀喜

【スローガン】 育てよう夢 伸ばそう個性 伝統を受け継ぐ慶徳の子

「飢・寒・乏」がいなくなった・・・

ある人と話をしている、最近「飢・寒・乏」がいなくなったという話になりました。物質的な豊かさの中で、飢えや寒さ、無い物づくしの生活は、遠い過去のものかもしれません。

- ・食べたい物を食べただけ食べ、食べたくない物は残す。
- ・寒さや辛いことに耐えられず、すぐに弱音を吐く。
- ・欲しい物を苦労もせず与えられ、我慢をしたり、物を大切にしたりしない。

この学校だより「大銀杏」の第13号で、「子育て雑感～三分(さんぶ)の「飢えと寒さ」～」という題で同じようなことを書きました。(本校ホームページ 左側のメニュー「学校だより」からアクセスできます。)何も、子どもたちにひもじい思いをさせるということではありませんが、あえてがまんをさせたり、苦労をさせたりすることも大切だと思います。

「転ばぬ先の杖」を与えすぎると、転ぶ時の感覚や痛さ、そのあとの起き上がり方を自らの力で学び取っていく経験を奪ってしまうことにもなります。間違いや失敗したときこそ、成長のチャンス! 間違わないように、失敗しないようにと、先回り支援や過剰支援とならないようにし、見守りや励ましを心がけていきたいものです。言うほど簡単ではありませんし、待ちきれずつついつ口や手を出してしまうものなのですが。

昔よく言われた「きかんぼう」(聞かん坊)のように、人の言うことを聞かない子どもでも困りますが、たくましさや行動力は抜群だったような印象があります。



本校のICT教育 進んでいます!!



「一人1台タブレット」が実現してから間もなく1年。子どもたちだけでなく、私たち教員もその活用について試行錯誤を重ねながらやってきました。今では、どの学年もタブレットの使い方やリモート学習の仕方について慣れてきています。

幸いにも、現在までのところコロナ感染による学級閉鎖や臨時休業にはなっていませんが、そうした状況になっても対応できるように、各学年では、リモート授業のやり方を練習しています。今日の全校朝の会も、校長室から各教室にリモート配信しました。毎日の検温・健康観察の報告も、本校では紙媒体からメール送信に替えました。これからも、ICTの特性を生かした学習や学校運営を積極的に進めていきます。

学力調査 結果(個票)へのコメント ありがとうございます!

12月に実施した喜多方市総合学力調査の結果を、先日各家庭に配付いたしました。その際、児童の反省に対して保護者の皆さんにコメントを書いていたいただきました。全部に目を通しましたが、児童の反省もしっかりした内容で書かれており、それに対して保護者の皆さんの温かく、そして的確な励ましの言葉が書いてありました。テストをやりっ放しにせず、振り返り、反省をし改善していく取組を児童、保護者、先生が一体となってやっていくことが、更なる学力の向上につながっていきます。それが、本校の学力の実態に確実に表れてきています。



本日、令和4年度の年間行事予定表(暫定版)を配付しました。ご活用ください。